

みやま

文責:濱田 学

春爛漫の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は本校の教育の推進にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
さて、この度の人事異動により、次の職員が転出入いたしましたのでお知らせいたします。

<転出3名>

主幹教諭 山本 誠 (赤穂西小学校教頭へ採用)
教 諭 金田加奈子 (城西小学校教諭へ配置換)
講 師 大田 真也 (高砂市立伊保小学校教諭へ採用)

<転入4名>

教 諭 玉浦久美子 (尼崎市立武庫庄小学校教諭から転入)
教 諭 吉積 陽子 (本校講師から採用)
教 諭 本郷 裕太 (採用)
講 師 有年 知子 (城西小学校講師から配置換)

この24年度におきましても、尾崎小学校長として濱田が担い本校教育の充実に向け舵取りをすることになりました。今後とも、よろしく願いいたします。

4月2日(月)には4名の教職員が着任し31名の教職員組織で、地域や保護者に信頼される学校づくりを全職員一丸となって取り組んで参ります。4月6日(金)の始業式では、式辞として2年生から6年生の400名の児童に、「自慢できること」をこの1年間で一杯つくって欲しいことを話しました。その意図は、自慢を一杯つくることで自信ができ自分の「誇り」につながり、それが学級・学年の誇りになり、学校の誇りになり、それが学校のよき伝統になるものと考えています。この1年間、昨年度に引き続き、子どもたちの自慢づくりにご理解とご協力をお願いいたします。そのことが地域の誇りにつながり、生まれ育った尾崎地区「ふるさと」への愛着に発展するものと確信しています。

4月9日(月)の平成24年度の入学式の日では、新1年生75名を迎え、6年生のお兄さん・お姉さんたちに手を引かれ、照れくさそうに入場しました。長いお話にもしっかり耳を傾け、「ドキドキドン! 1年生」の歌を元気よく歌ってくれました。もうすっかり、1年生になっていました。式のあと、教室へ移動し、担任の先生から教科書などを配ってもらいました。教科書を受け取る子どもの顔は、とても晴れやかな表情でした。入学、おめでとうございます!

さて、本年度は全校児童475名、教職員31名で、平成24年度の尾崎小学校は船出をしました。今後につきましても、保護者の皆様、地域の皆様、本年度もどうか格別のご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、4月22日(日)には、参観授業並びにPTA総会の予定になっています。つきましては、多くの皆様に学校へお越しいただき、子どものはりきった姿をご覧いただけましたら幸いです。是非ご出席をお願いいたします。

皆さんの身近な「いい話」が学校と地域をよくします

「〇年〇組の尾崎太郎君が、落とし物を拾ってもらって助かった」
「登校中にゴミを拾っている子どもを見かけて感動した」など、皆さんの周囲の「よい児童」や「よいこと」があればどんどん紹介したいと考えています。よい行いを発見されましたらお知らせください。

学校をよくするためのご意見をお待ちしています。校長 濱田 学

尾崎小学校教育目標

『生きる力』を育み、『ほこり』を持てる子の育成

～子どもたちが自信と誇りを持ち、夢に向かって生きていきたいと実感できる魅力ある学校～

基本理念

- 赤穂市教育努力目標『『明日の赤穂』をになうところ豊かな人づくり』を踏まえて、子どもたち一人一人の「生きる力」を育成する。
- 尾崎地区の歴史と文化を踏まえて、ふるさと「尾崎」に誇りを持てる「豊かな心」を育成する。
- 地域の中の学校であることを踏まえて、地域の一員として自覚し「たくましい地域人」を育成する。

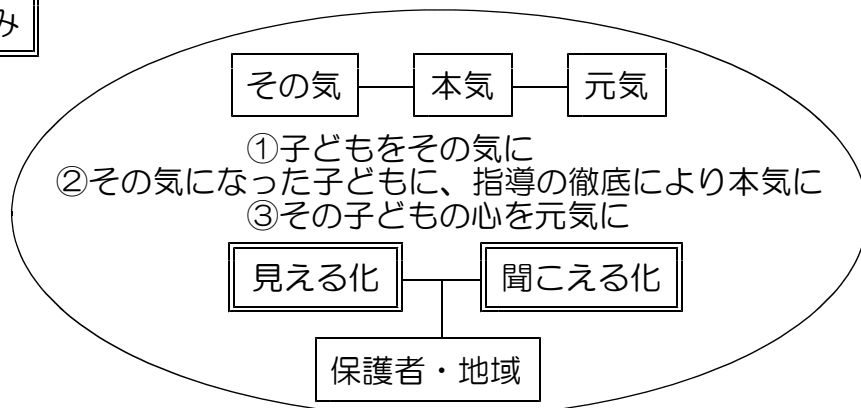
小学校学習指導要領完全実施定着への対応や小1プロブレム・中1ギャップ等に起因する「いじめ」「不登校」「問題行動」等の様々な教育課題が山積する中、教育活動全体で児童に「生きる力」を育みこころ豊かな児童を育成することは、これまで以上に重要です。

そのため、「学校」、「家庭」、「地域社会」が、それぞれの役割を自覚しつつ、学びの共同体として、取組みを進めなければなりません。

その中で、学校の役割は極めて大きく、学校としての情報発信をすると同時に、保護者や地域の皆様に開かれた学校をつくります。言い換えれば、学校が『見える化』『聞こえる化』に取組み、子どもの姿、教職員の姿、学校の姿を保護者や地域の皆様に明らかにすることが、「信頼」につながるものと考えます。学校は、日々一生懸命に子どもたちに「生きる力」を育成するために頑張っていますが、保護者や地域の皆様に「見えていない」「聞こえていない」ことが「真の信頼」を得ることができていないと考えます。そのため、学校は、子どもたちに「誇り」＝「自慢できること」をより多く実感させることが、保護者や地域の皆様に「見える」「聞こえる」につながるものと確信します。

そこで、学校教育目標を『『生きる力』を育み、『ほこり』を持てる子の育成』と設定しました。全教職員の共通理解を図り、子どもたちが自信と誇りを持ち、夢に向かって生きていきたいと実感できる魅力ある学校をめざします。

学校としての意気込み



『はなまる賞』継続！

私が着任して以来、子どもたちに「自慢できること」をこの一年間で一杯つくって欲しいと話をしています。そこで、昨年度に引き続き、個人の自慢が特に学校の自慢につながる行いや頑張りに「はなまる賞」をその子どもに全校の前で授与し称賛いたします。

『ちょボラの木』運動の展開

昨年度の児童会では、ちょっとボランティア運動を全校児童に呼びかけて展開をしていました。そして、中央廊下の掲示板で「ちょボラの木」の葉っぱに子どもたちが見つけた友達のボランティアしたことを記入し貼り付けて、その木を育てていました。

今年度も、その取り組みがとても良かったので学校としても支援していきます。



